

世界の課題解決に貢献する北海道大学へ



【10年後目指す姿（ビジョン）】

イノベーション・社会実装で先進する大学

世界の頭脳が行き交う大学

優れた研究ガバナンスを誇るモデル大学

【ビジョン実現のための北海道大学の経営戦略】

I. 総長の強力な指導力の下でのガバナンス改革の加速

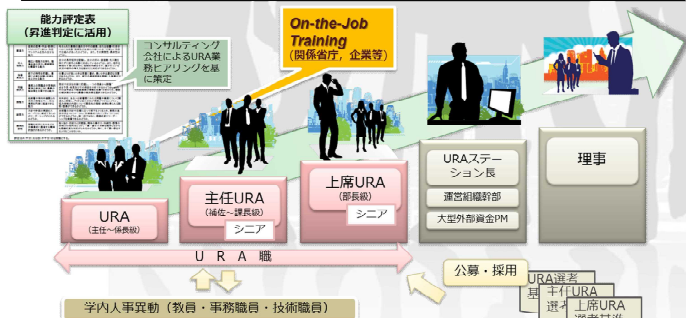
- i. 経営戦略室、総合IR室、URAステーションの設置
- ii. 次世代大学力強化推進会議からの迅速なフィードバック

II. 研究力向上のための3つの戦略

- i. 人材の多様化（ダイバーシティ）の推進
- ii. 先端的な研究成果の創出と世界への発信
- iii. 課題解決のための社会との連携強化

【北海道大学の経営戦略の進捗状況】

Aメニュー：URA職を創設、14名のテニュアポストを確保



Bメニュー：経営型URAを活用し、IIの3つの戦略を実現

- i. 人材の多様化
- ii. 研究成果の創出と発信
- iii. 社会との連携強化

- ◆ 「10年部局型」テニュアトラック制度を確立
- ◆ 外国人及び女性研究者支援サービスの開発
- ◆ 国際研究拠点（北極域センター、FMI）の立ち上げ
- ◆ 研究基盤共用システムの機能強化（GFC）
- ◆ 産学・地域協働推進機構の立ち上げ
- ◆ ニーズ主導型産学連携事業（COI）を牽引

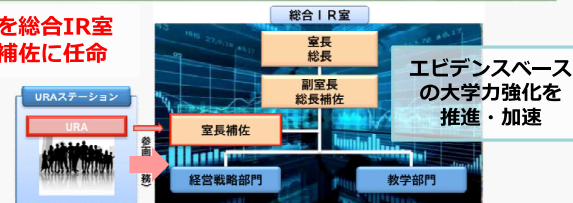
【今後5年間の将来構想】

「北海道大学のリソースを最大限活用する研究開発環境イノベーション」

【新設】経営戦略室：大学の経営戦略を企画立案

【機能強化】総合IR室：研究・教学・財務等IRを統括

URAを総合IR室  
室長補佐に任命



【機能強化】大学力強化推進本部（本部長：総長）

北大URAは「大学経営マネジメント人材」として大学IRを活用し大学力を強化

URAステーション：経営マネジメント人材を統括

大学力強化に資する2大事業を統括

研究大学強化促進事業

スーパーグローバル大学創成支援事業

中間評価結果

評点区分：A

全体に対する所見

構築された URA 制度を研究力強化の観点から活用し、北海道の中核的大学として、地域性を加味した取組も含め、戦略的に取り組んでいる。強み・特色を強化し、より力強い前進力が感じられる取組を期待する。

当初構想・計画の進捗状況に対する所見

URA のキャリアパスの整備、URA 職の設定など制度的な改革が進んでおり、それを活用した研究力強化への効果も認められるなど、研究力の着実な増進が認められる。

今後5年間の将来構想に対する所見

研究力向上のために3つの戦略を掲げ、URA を大学経営マネジメント人材として IR を活用して大学力を強化する方針となっており、URA の組織作り、活用を十分考えた計画となっている。一方で、研究力強化に向けた指標の設定や対応策の検討など、特徴ある研究を基盤とした構想が必要と考えられる。